

科目名	文学	科目コード n0430
-----	----	----------------

学科名・学年	全学科4学年 (プログラム1学年)	担当教員	今野 哲 (一般)		
単位数	1単位・選択	開講期間	後期	時間数	30時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(26), 演習(0) 実験(0), その他(4)
教科書	安森敏隆・末竹淳一郎『近代短歌と現代短歌』(双文社出版)				
補助教材	担当者によるプリントなど				
参考書	授業中に随時指示する。				

A 科目の概要	
短歌(和歌)は千数百年の伝統を持つ文芸形式であり、現代においてもアクチュアリティを失っていない。短歌に対する一定程度の理解と鑑賞力を身につけておくことは、教養人として望ましいあり方である。本授業では、1)近現代短歌史の講義、2)近代短歌・現代短歌に関する講義、3)短歌の実作指導、を行う。	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・近現代短歌史の概要を理解する。 ・近現代の短歌作品に対する鑑賞力を身につける。 ・短歌を詠めるようにする。 ・文芸作品に対する感性を開発する。 	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(A)[A1]
D 履修上の注意	
授業に際しては、教科書を持参すること。課題は必ず期日までに提出すること。授業に欠席しないこと。国語辞典を携帯して、適宜利用することが望ましい。また、創作に関する時間もあるので、文芸についての一定程度の関心・知識を涵養しておくこと。	
E 評価方法	
<p>近現代短歌史の概要の理解の度合いを論述試験によって評価する。(20%)</p> <p>短歌作品に対する鑑賞力の定着度を論述試験によって評価する。(40%)</p> <p>短歌の実作力を提出課題・口頭発表によって評価する。(20%)</p> <p>文芸的感性の開発の度合いを論述試験・課題・発表によって評価する。(20%)</p> <p>定期試験【60%】(前期中間(0),前期末(100),後期中間(0),後期末(60))、その他【40%】(課題提出・口頭発表など)</p> <p>の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格点とする</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	授業の進め方に関する説明・和歌史概説	
2	近現代短歌史概説	
3	現代短歌の世界	
4	近代短歌講読（１）	
5	実作批評会（１）	
6	近代短歌講読（２）	
7	近代短歌講読（３）	
8	近代短歌講読（４）	
9	実作批評会（２）	
10	現代短歌講読（１）	
11	現代短歌講読（２）	
12	現代短歌講読（３）	
13	実作批評会（３）	
14	期末試験	論述形式
15	試験解説・近現代短歌の世界	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		